

事業番号	事務事業名	オフサイトセンター臨時管理費	所管課名	くらし安全課	令和 2 年度課長名	小原 克則
00638	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	生活安全係	担当者・シート作成者	草苺 周作
	施策名	41 消防・防災対策の推進	根拠法令等	原子力災害対策特別措置法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	<p>上齋原オフサイトセンターは、鏡野町が管理しているが、その管理経費は原子力発電施設等緊急時安全対策交付金により措置されている。</p> <p>●交付金: 交付申請～交付決定通知書受理～実績報告～確定通知書受理</p> <p>●空調機器の老朽化に伴い、機器の更新を行う。</p>	<p>緊急事態応急対策拠点施設(オフサイトセンター)は、平成11年に発生した茨城県東海村のJOCウラン加工工場での臨界事故を受けて定められた原子力災害対策特別措置法に基づき、平成12年度に原子力施設の20km未満の場所に設置されることとなった。</p> <p>上齋原オフサイトセンターは、平成12年度に設置され、平成13年度より運用されている。</p>

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 原子力施設	ア オフサイトセンター施設面積	m <sup>2</sup>	見込 実績			1,068 1,068		
イ 周辺住民	イ 上齋原地域住民	人	見込 実績			600 534		
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 原子力災害時の応急拠点として機能する	ア 原子力災害発生件数	件	目標 実績 達成率			0 0 100.0%		#DIV/0!
イ 住民に安心感をもってもらう	イ 災害時対応訓練回数(岡山県)	回	目標 実績 達成率			1 1 100.0%		#DIV/0!
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 空調工事関係契約	ア 契約締結件数	件	目標 実績 達成率			2 2 100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 02 総務費	項 01 総務管理費	目 13 科学技術関係諸費	大事業 中事業 02 04	予算上の事業名	00638						
	オフサイトセンター臨時管理費					00638							
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金			4,351			4,351	県支出金			2,772			2,772
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源							一般財源						
合計	0	0	4,351	0	0	4,351	合計(A)	0	0	2,772	0	0	2,772
財源名称	岡山県原子力発電施設等緊急時安全対策交付金			従事正職員人数						1			1
				延べ業務事務時間						30			30
				人件費計(千円)(B)			0	0	100	0	0	0	100
	最終予算額	4,351 千円	予算執行率	63.7%	トータルコスト(A+B)					2,872			2,872
主な支出事業内容(予算)	工事請負費			3,850 千円			主な支出事業内容(決算)	工事請負費			2,332 千円		
	委託料			501 千円				委託料			440 千円		

事業番号	00638	事務事業名	オフサイトセンター臨時管理費	所管課名	くらし安全課
------	-------	-------	----------------	------	--------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・対象者は減少傾向にあるものの、根拠法令等の変更はない。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
・施設を適正に維持するため、施設や設備の老朽化がある場合、更新が必要があるため、点検等を行い更新していく。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
・意見は無いが、適正な管理を行う必要がある。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	適正な施設の維持管理を行う必要がある。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	維持管理について、交付金を充当し管理していく。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	災害時に適切な施設運営が行えるように管理する必要がある。
効率性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	施設設備の性能の維持を行うため、平時からの点検及び修繕を行っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	法的に定められた施設であり、廃止等の場合は支障が生じる。
	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	機器の更新については、適切な手法で行っている。
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	期間の短縮や経費の縮減を図るなど、事業費の削減に取り組んでいる。
公平性 評価	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	必要最低限の人員で対応している。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	平時から原子力災害に対する備えや訓練を行い、人命の保護につながっている。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 施設の管理を適切に行い、点検等を行うとともに、老朽化した機器は更新を行っていく。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
国、県と連携をとり、原子力防災に努めていく必要がある。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							